

にほんのひのまる
なだてあがい
かえらぬ
おらがむすこのちであかい

「祖母のうた」

コメのなる葉は哀しい
おおわが田むらの稻よ
コメのなる葉よ
ぬめりぬめる泥濘の深みから
必死に這いあがり
朝の世界をめざす勇姿よ

「コメのなる葉」

山形国際キュメンタリー映画祭 2015
YAMAGATA International Documentary Film Festival
公式上映作品

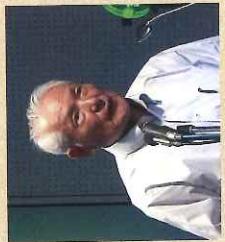
無音の叫び声

長編ドキュメンタリー映画

山形県牧野村で
反戦平和の詩を書き続けたひとりの農家がいた——
戦後の日本社会と格闘した農民詩人・木村迪夫の思い

語り 室井滋 朗読 田中泯
監督・構成・編集 原村政樹
撮影 佐藤広一 渡辺智史 原村政樹 音楽 佐々木良純 風字・絵画 草薙一夫
企画・製作・配給 映画「無音の叫び声」製作委員会 2015年 122分
www.eiga-muon.net

「自分は虫けらのよき生き方でなくて、物を見、発言のできる百姓にならなければならぬ」と思つた。」



農民詩人とも反戦詩人ととも呼ばれる木村迪夫の16冊に及ぶ詩集は、数々の詩人賞を受賞、日本農民文学の最高峰ともいわれている。本作では、彼の人間的な魅力もさることながら、第二の父でもある農民詩人・真壁にとの出会いや友人の日本画家・草薙一夫との交流など地方の豊かな芸術・社会文化が描かれるとともに、ナレーションに併優の室井滋、詩の朗説には自らも農業に携わり近年、映画やドラマでも存在感を見せるダンサーの田中泯が務め、映画に深みを出している。地方から反戦平和、戦後日本社会を見続けた木村の詩や人生には、私たちが忘れかいでいるものが見えてくる――。



農民詩人・木村迪夫 79歳
農業、出稼ぎ、ゴミ収集。父の戦死、南方での遺骨収集…。
東北の小さな村に暮らすひとりの農民の詩が、日本の今を照らす
（あらすじ） 山形県上山市牧野で小作人の長男として生まれた木村迪夫は、
戦争で父・叔父をなくし、戦後、自作農となるも出稼ぎや廃棄物収集業
(ゴミ屋)にも就くなど、高度経済成長の中、社会の底辺での生活を長年
強いた。一方で、そんな社会の矛盾や戦争の非道さを、60年以上に
わたって詩の中に綴ってきた。また、衰退する農村を憂い、三里塚闘争
を記録していた小川プロを自宅隣に呼び寄せたり、叔父の遺骨を探し
に太平洋の激戦地・ウエーキ島での遺骨収集事業に参加するなど、その
活動は農業や詩の創作に收まらなかつた…。

木村迪夫（きむらみちお）プロフィール

1935年、山形県生まれ。農業に勤めながら15歳で詩作を始め、以後60余年にわたり創作活動で、160詩集を出版。日本を代表する農業詩人で、反戦詩人とも呼ばれる。「詩と言ふ村の幻へ」(1986年、第30回日本農民文學賞)、「まぎれ野の川」(1992年、第22回舞翠賞)、「いろいろにほへどちりめるを」(2003年、第21回現代詩人賞)、『光る朝』(2009年、第16回山川賞)、『ほか、山形県詩賞』、『山形県芸術文化賞員、真壁仁・野の文化賞』、『新藤茂吉文化賞』など、多数受賞。2016年1月、第59回山形3P賞を受賞した。

監督・脚本・音楽・脚本担当：佐藤正樹／音楽：佐藤正一／監督：佐藤史郎／制作助手：松崎光海
撮影：佐藤正一／脚本：佐藤正樹／音楽：佐藤正一／音楽：佐藤正一／音楽：佐藤正一／音楽：佐藤正一
石坂勝平／原案：阿部洋子／音楽：新藤正／音楽：新藤正／音楽：新藤正／音楽：新藤正／音楽：新藤正
企画・製作・配給：映画「無目的の叫び」製作委員会（☎ 070-0953-3517）／日本／2015年／122分／www.eiga-muon.net



本当の言葉を、
僕は大地の生き物から教わった。
無音を解し許しあう世界こそ
人間の言葉だ。 — 田中泯（ダンサー）

闘うことで
混乱と苦難をサバイバルしてきた
農民詩人木村迪夫の言葉は、
針路を照らす灯りとして
現在、さらに輝きを増している。
— 村上龍（作家）

4月9日土よりロードショヨー 10:20 / 15:10
(初日来場者先着30名様に特製写真カードセレクト※4/30以降は直接受取場にお問い合わせ下さい)
特別鑑賞券 ¥1,300円 (税込) 絶賛発売中 当日 一般1,700円 シニア大学・専門1,300円 小学生1,000円

